

久重のまちづくり計画



「第2期久重のまちづくり計画」 第6回策定会議を開催しました！

福祉編！

6月18日(土)、久重小学校の体育館にて第6回策定会議を開催しました。

会議を重ねるごとに子どもたちの参加が増えています。今回は地域住民39名(うち16名が子ども)、行政関係者15名、計画策定アドバイザーの畠中洋行さんを合わせると総勢55名の方が集まりました！



■「地域共生社会とは何か」について学びました！

高知市地域共生社会推進課の山下課長補佐から、地域共生社会とは何か・どんなことがこれから課題になってくるかについて話してもらいました。久重地域における今後の人口推移を踏まえ、人とのつながりの希薄化が進行していることを知ることができました。人口減少・少子高齢化により、今後地域における支え合いの大切さ＝「地域共生社会の実現」を目指すことの大切さを学びました！



■高知市における生活支援ボランティアの取組紹介、寸劇を行いました！

高知市社会福祉協議会地域協働課の小笠原さんから、生活支援ボランティアの取組は、難しいものではなく、誰でも気軽にできるものであることを学びました。また、「日常生活でのちょっとした困りごと」とは一体どういうものかを話してもらいました。その後、福祉をテーマに、演技派俳優たちによる寸劇が披露され、生活支援ボランティアに対する理解を深めることができました！



■久重地域の「福祉」をテーマに、グループワークを行いました！

久重地域の「福祉」をテーマに、【①地域の困りごと、②困りごとをキャッチするには、③困りごとに対して自分たち(地域)でできること、④行政等で対応してほしいこと、⑤実現するために大切なこと】について、グループワークを行いました。(詳細は、見開きをご参照ください。)

今回は、子どもグループと大人グループに分かれてグループワークを行いました。それぞれで活発な議論が交わされ、ボランティアグループの設立や子どもファンドの取組を活かしたアイデアが出るなど大変盛り上がりしました。

本会議で話し合われた内容は、「第2期久重のまちづくり計画」に掲載される予定です！「困った人がいたら助ける・困ったら助けてと言える、お互いさまの地域づくり」を目指していきましょう！



ほねけなまようこう

👉 計画策定アドバイザー 畠中洋行さんからのお話し

今回は、最初から最後まで子どもグループに入っていましたが、子どもファンドで出たアイデアを上手に活用した意見が出るなど、とても頼もしかったです。将来的には、建築・情報を学んでいる学生が、知恵を活かして、困りごとのある人がボタンを押したら旗があがるというアイデアに近いものが実現できればいいなと思いました。全てのグループの話の聞いていると、やはり日頃からの人間関係が大事という意見が多かったですね。その関係性作りをこの5年間の計画を実行していくなかで実践していただきたいです。ボランティアグループを作ってポイント制にするという意見もとても面白かったです。

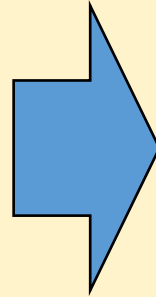
前回の防災のテーマで「避難行動において要支援者にどういった支援ができるのか」について考えたときに、日頃からのつながりが必要であること・だれが支援を必要としているか日頃から知っておくことが大事であるという意見が出ましたが、今回の福祉編と密接に関わっていると思います。防災と福祉を一緒に考えながら、この5年間でできることをやっていくという意識づけも必要だと感じました。



こども班から出た意見

「困っている人に自分たちならこんなことができそう！」

- 一緒にでかける, ゲームをする, 食事をする
- 励ます
- 悩みを聞く⇒解決する方法を探す
- 仲良くなる
- 何が困っているか聞く
- カートの持ち出し
- 買い物を手伝う
- おつかいの日時を決め, マイクロバス等で迎えに行く
- 家の手伝い
- 草刈り, 掃除
- 電池交換
- 料理を手伝う
- 家の周りにおける危険生物の確認
- ゴミ出し(通学の時に一緒に捨てる, バス待ちの間に)
- 簡易的なリハビリ, 脳の活性化の手伝いをする
- シップ貼り
- 話し相手
- 重い荷物をもってあげる
- 体力が必要なことの手伝い
- ゴミ出し

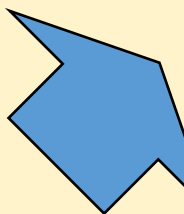


「困りごとをキ

- 「元気ですか」と声掛けをする
- 困っていることを聞き出す
- こども相談窓口を作る
- 困りごと解決できるセンター
- アンケートを作り, 地域の困りごとを把握する
- 掲示板などに「表」を作って困りごとを知らせる
- 不燃物の日に手伝いをする
- ごみが溜まっていないか定期的に確認する
- 挨拶の時に悩みを聞く
- 毎日お話をする
- メール, LINE, 電話
- 困ってますカードを作って困りごとを知らせる
- 家具の固定をしてあげる
- ポスターで困っている人を知らせる
- 「ほおっちょけん」キーホルダーをつける
- 急いでいないことはオレンジ旗
- 家の前に旗を置いて訪問
 - 赤旗⇒急いでいる
 - 黄旗⇒急いでいないが, 寄り道していい
- ボタンを押したら隣の人に伝

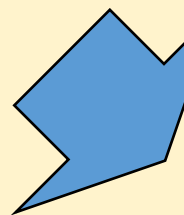
「地域の困りごとは？」

- 井戸, 配水管の維持
- 車がないと水を運べない(免許返納ができない)
- 親のお世話
- 爪が切れない
- バイクを止めるのに力が無くて困る
- 高齢になると長時間の立ち仕事ができなくなる
- ゴミ出しが大変(特に不燃物)
- 一人で入浴ができない
- 家の掃除が難しい
- 家具の移動などができない
- スマートフォンを扱えない
- 話し相手がない(独居高齢者)
- 高齢で地域活動に参加しにくくなる
- 草刈り, 庭木の剪定, 畑の維持
- 竹の伐採
- 桶の掃除
- ゴミ荒らし
- 保育園の存続が心配
- 買い物場所が近くにない
- こどもの遊ぶ場所がない
- バスの便が少ないため, 病院などへ行きにくい
- 買い物に困る(車に乗れなくなると困る)
- 一人で歩くのが不安



「困りごとをキャッチするには？」

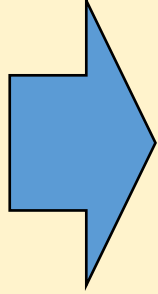
- 近所の人との会話
- オレンジポストによる収集
- 見守り隊の設立
 - ⇒積極的に困りごとを聞きに行く
- 民生委員さんとの連携強化
 - ⇒民生委員さんの仕事の共有・発信を行う



大人班から出た意見

「キャッチするには？」

- する
- ーのチラシを配る
- りごとを集める
- て困ってなかったら丸をしてもらう
- る
- 定期的に聞きに行く
- 困っている時に玄関に掛けてもらう
- 探す
- ダーをつけることで困っている人を見
- ジポストで
- 寄ってほしい
- 伝わるようにする



「実行するためには何が大切？」

- あいさつを積極的にする
- 悩みを聞く
- イベントに誘う
- マイクロバスを出せる人の確保
- 一緒に買いに行く
- 助け合い
- 命やモノを大切にすること
- 病院への同行
- 地震や火事の発生時に一緒に逃げる
- 日頃からのあいさつ
- 自分から挨拶する
- イベント等で、話をする場所を設ける
- 「仲良し会」を開催する
- 百歳体操を一緒にする
- 手伝いましょうかと声掛けをする
- イベントで「久宝茶」をふるまって仲良くなる
- 「メンマ」とかこどもファンドで作ってきたものを配る、一緒に食べる



「困りごとに対して地域でできること」

- 生活支援ボランティアの実施
- スマホの使い方を教える
- 電球の交換
- 代わりにゴミ捨て、ふとん干しをする
- 家の掃除をしてあげる
- 障子の貼替をしてあげる
- 誰にでもわかる言葉での表示
- 横文字をやめる
- 大きな文字で表示
- マーク、イラストを使う
- 病院への付き添い(乗り合い、同乗)
- 電球交換
- 民生委員さんへつなぐ
- 近所の人々が助けてくれる配食サービスの実施



「行政等に対応してほしいこと」

- 空き家対策
- 学校までの道路の整備(歩道がない)
- 高齢者ドライバーの増加
- ボーイスカウト制度導入
- 高校、大学、専門学校との連携
- 介護保険事業や、市社協のボランティアセンターの活用
- ゴミ屋敷対策
- 「助けて」と言えない人へのサポートは行政・民生委員さん
- ゴミステーションを増やしてほしい
- 駐車場を整備した公園の設置
- 相談やアドバイス
- (行政で解決できなくても、次につなげてほしい)
- 個別避難計画を作成し、市職員に同行してほしい
- 土日も電話対応してほしい



「実行するためには何が大切？」

- 無料の送迎タクシーの実施
- 移動支援が必要
- 専門学校等の連携
- 集いの場の整備
- 若者の巻き込み
- 買い物バスツアーの実施
- デイサービスの設置
- 調理師免許の取得
- 人付き合い、言い合うことできる関係が大切
- 地域の困りごとをLINEで共有
- 電話したら振り分けてくれる仕組みづくり
- 困っている人の声を拾うことができれば、手伝うことができる
- 無償だと相手が気を遣う
- 普段からの近隣づきあいが大切
- みんなが地域のことを知る
- あいさつ運動から、顔が見える関係を作る
- 隣近所で「助けて」が言える関係に
- 草刈りは月2~3回する必要がある
- 協力してくれる人を増やす



Check!!

福祉編！

計画策定の仲間を紹介します！

- 質問 ①趣味
②将来久重がこんなまちになってほしい！

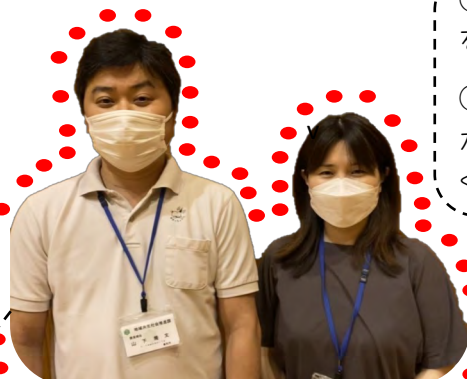


いまくぼ ことね
今久保 琴音さん

(高校生)

- ①ゲーム
②いつでも「ただいま」と言ったら「おかえり」と言ってくれるまちになってほしいです。

- ①飲みに行くこと
②みんなの笑顔がずっと続くまちになってほしいです。



やました たかふみ おおぶろ みさ
山下 隆文さん・大黒 美渚さん

(高知市 地域共生社会推進課)

- ①読書、母が育てた野菜畑を眺めること
②これからも人も自然も豊かなまま、子どもたちが輝く地域でいてほしいです。



地域情報コーナー

生活支援ボランティアをご存じですか？

＜対象エリア＞

旭・江ノ口西・江ノ口東・一宮・秦・三里

(※エリアの詳細に関しては直接お問い合わせください)

既存の制度や福祉サービスでは対応しきれない、

「生活上のちょっとした困りごと」をお手伝いしてくれるボランティアです！

これまでの活動実績

＜基本的な考え方＞

- ①無償である
- ②専門的でない(できる範囲で活動)
- ③短時間の活動(1時間程度)
- ④身体介助を伴わない
- ⑤継続的でない

＜活動までの流れ＞

- ①生活支援ボランティア養成講座の受講(高知市社協実施)
- ②高知市社協ボランティアセンターへの登録(ボランティア活動保険の加入)

＜登録者数＞ 66名(R3.3末時点)

- 電球の交換
- 庭の草引き
- ゴミ出しの手伝い
- 自宅内の清掃
- 家具の移動 など

＜問合せ先＞社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 地域協働課

TEL:088-823-9570(高知市丸ノ内1丁目7番45号 総合あんしんセンター3階)

あなたの意見が久重の未来をつくれます！

参加者募集！

「第2期久重のまちづくり計画」の策定会議は、久重に関わりのある方(久重にお住まいの方・久重にお勤めの方・久重が好きな方 等々)ならどなたでも自由にご参加いただけます。連絡先は下記に記載しております。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております！

～第7回策定会議のご案内～

- ☆内容(予定)：「新たな事業」の検討
- ☆日 時：7月16日(土) 18時～
- ☆場 所：久重小学校 体育館

第7回策定会議は、「新たな事業」の検討をします！



■連絡先

高知市地域コミュニティ推進課(担当:巽・横田)
TEL :088-823-9080 FAX :088-824-9794
E-mail : kc-102000@city.kochi.lg.jp

■「第2期久重のまちづくり計画」

主体:久重地域連携協議会
久重地域連携協議会の活動は
右のQRコードからご覧いただけます。

